


株式会社ONNA

業種	卸売・小売業	事業所所在地	沖縄県国頭郡恩納村	資本金	16,500千円
				従業員数	45名

	被承継者（左）	
	富山 憲一	76歳 ※承継時
	承継者（右）	
	與儀 繁一	60歳 ※承継時
事業承継を行った時期	被承継者と承継者の関係	
2019年6月	従業員（親族外）	
承継前の主たる事業の内容	承継前の主たる事業の課題	
卸小売業	・新商品・新サービスの開発	独自性ある自社商品が少ない。薄利多売商品からハイグレード層向け高付加価値商品開発による販路拡大。

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 2年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
創業代表者が、創業 15 年を節目に退任を希望したため。	村の指定管理会社としての役割と使命の確認。 2 年前に策定した中長期経営計画の推進確認。	承継者を支える人材不安。
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	取締役役員や地域団体関係者との調整連携を確認してきた。	創業者は、各団体長として知名度と経験が豊富であり、対外的に人望がある。事業の経営運営面ではなく、対外的対応や調整に不安がありました。

これに一番苦労した！

これまで弊社設立の経緯から株主である団体長が代表取締役になるだろうとの、周囲の声がある中、プロパーに任せたいとの前代表の意向により急な指名を頂いた。気持ち的準備不足と社員との未調整の中、関係者との協力支援を確認するまでは安心できない承継であり苦労しました。村の指定管理会社は、村を始め関係機関や各団体の信頼づくりが大事であり、大変気を使う部分であります。

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
商工会・商工会議所	事業承継に係る各種手続き及び、事業承継支援関連講習会や補助事業の指導支援
いつから相談？	
承継実行の 1年前	
相談のきっかけ	
以前から取引や付き合いがあった	

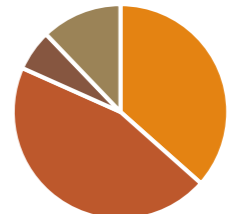
経営革新等に係る取組の標題

地域の特産品をプロデュースした自社商品の開発と高級路線向け販路開拓

経営革新等に係る取組の内容	商品の新たな生産又は販売の方式の導入
---------------	--------------------

- 平成14年に創業した「恩納村農水産物販売センター（通称おんなの駅）」は、恩納村の物産販売拠点として地域の様々な事業者と連携しながら地域産品の仕入・販売を行っており、平成24年から自社ブランド商品の製造販売も行っている。
- 創業以来、観光客の増加も相まって売上・利益共に順調に伸びてきたが、近年は販売スペース及び駐車場のキャパシティに余裕がなくなっており売上は伸び悩んでいる。一方でリゾート地恩納村は年間280万人が宿泊する恵まれた環境ながら、村内農産物及び特産品の販売機会を活かしきれていない。これまでの村内加工品は優位性はあるものの知名度が低いために薄利多売商品が大半となり、利益率の増加やハイグレードな宿泊客向けの商品開発が課題であった。
- そこで、高級リゾートホテルの宿泊客向けに恩納村の特産品を活用した「フルーツバター」の開発、また、メモリアル需要・記念日需要を主なターゲットとして村を代表する泡盛を活用した「海底熟成泡盛」の試作、販売システムを導入する。
- 今後は、地域資源を活用した高付加価値商品として、クラフトビール等を開発し、ラインナップの拡大を予定している。また、将来的には恩納村の地域特性を活かし、観光客をターゲットとした観光連携型農業に取組み、村内農産物全体の活性化を図りたい。



地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
海底貯蔵泡盛は製造業者、漁業者との連携がなければ事業運営ができません。また、フルーツバターは、地域農産物の活用拡大となり、生産農家の所得向上が期待できます。いずれも、村内一次産業との連携によるものであり、地域経済に貢献できるものと考えます。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人件費 ■ 設備費 ■ 外注費 ■ 委託費  <p>経費の主な使い道</p> <ul style="list-style-type: none"> 人件費 設備費（海底貯蔵用コンテナ導入費） 外注費（商品検査費） 委託費（新商品開発費）

認定経営革新等支援機関の名称：恩納村商工会			
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施

事業承継に係る各種手続き及び、事業承継支援関連講習会や補助事業の指導支援

今後に向けて～次の目標	
2019年から2022年に向けて	高付加価値商品を開発を推進していく事と、併せて農水産物の一次加工を推進して参ります。その為にも、自社加工場の整備を進めて参ります。また、観光連携型農業の推進する為に、自社農場を整備していきます。
売上高 112.8 %UP	

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
事業承継は、時間をかけて承継者を育てる事はもちろんですが、被承継者は自らが気力体力もある内に引き継ぐことで、承継者の経営環境を整え協力を支援ができスムーズに移行できると考えます。	弊社は、事業承継の2年前に中長期経営計画を策定しました。これにより、自社の方向性と取組むべき事業について、社内及び社外に対して発表した計画の実現に向け、進むべき道が標され、安心してバトンを受け取りスタートしています。